



【文化庁伝統文化 親子教室事業、と金親子将棋教室実施中】

5月 皐月 早苗を植える時期「早苗月(さなえづき)」を略したもの。

耕作を意味する古語の「サ」が元になっているという説もあります。※「皐月」の”皐”には「神に捧げる稲」という意味があります。**花** カーネーション 桜草(サクラソウ) 菖蒲(アヤメ・ショウブ) 一コギキョウ水花木(ハナミズキなど)。**野菜** たけのこ キヤベツ さやえんどう春菊 蕨(ふき) 蕨(わらび) 玉ねぎ アスパラ グリーンピースきゅうり そらまめ トマト茄子(なす) など



と金主催「第13回 市長杯 名古屋・小・中学生将棋大会」5月13日(日)開催 会場・愛知東邦大学・B-201・B-203教室・B-302教室・B-303教室、と金生徒は、是非参加をして下さい。日頃の成果を試しましょう。

プロ棋士の段位はどうやって上がるの？(ライター: 相崎修司記)

プロ棋士の段位はどのように上がるのでしょうか。今回は「段」が上がる仕組みと最も早く昇段するにはどのような方法があるのかを見ていきます。

プロ棋士のスタートは四段ですが、まず四段になるためには奨励会を通過するか、プロ編入試験で既定の成績を挙げるか、いずれかの条件が必要となります。詳しくはこちらに。

では、四段から五段に上がるための条件とは何でしょう。四段から五段へ上がる昇段規定には以下の5つがあります。

1. 竜王ランキング戦連続2回昇級または通算3回優勝
2. 順位戦C級1組昇級
3. タイトル挑戦
4. 全棋士参加棋戦優勝
5. 公式戦100勝

タイトル挑戦と全棋士参加棋戦優勝もお分かりいただけると思います。なお全棋士参加棋戦とは現時点で朝日杯将棋オープン戦、銀河戦、NHK杯戦の3つです。そしてタイトル戦のうち、最高棋戦の竜王戦は特別で、こちらは挑戦を決める藤井四段ですが、もし竜王挑戦を果たしていたら、四段から五段、六段を飛び越えて一気に七段への昇段が決まっていた。

光速の寄せ

谷川浩司棋士といえばなんといっても光速の寄せです。

なぜこの呼び名がついたかという、対局の終盤、寄せの場面で飛びぬけた能力を持っていたからです。残り時間も少なくなって、詰むや詰まざるやの緊迫した状況。普通の棋士なら焦って詰みを見逃したり、逆に詰まない状況で詰ませにいつて大逆転されてしまったりということがよく起こります。ですが、谷川浩司棋士の場合はそんなことはまずありえませんでした。どれだけ残り時間が少なくても、どれだけ複雑な状況でも、詰みが存在すれば絶対に見逃しませんでした。場合によっては30手を超えるような詰み手順でも簡単に発見して詰ませてしまう。そんなことを何度も繰り返しているうちに、光よりも早く詰ませてしまうという意味で「光速の寄せ」と呼ばれるようになりました。



また、自分の玉が詰まないことを見切って相手の陣地に攻め込む場面も多く見られました。相手からすれば谷川浩司棋士が守りを固めるだろうと考えていた場面で、こちらの攻撃を無視して逆に攻め込んでこれるので。



相手の攻撃の際に立ち止まったり下がったりするのではなく、逆に相手のほうに踏み込んでぎりぎり皮の一枚で避け、糸をたぐるような細かい攻めを繋いで最後には相手の玉を詰ます。将棋ファンだけではなく、プロ棋士の間でもそう評価されて谷川浩司棋士がどれだけすごかったのか分かっていただけたと思います。

4月開催の昇級・新入会者

4月7日開催分 村田宗佑君9級昇・中級Aへ、中武勇己君10級昇、

4月21日開催日 大石航旦君5級昇、大島圭一郎君6級昇、時田直哉君12級昇、新入会 荒川悠大・敬大君共に13級認定・

他の将棋大会 第25回岡崎将棋まつり (1)とき 平成30年5月6日(日) AM10:00~PM5:20

(2)ところ 岡崎城二の丸能楽堂・三河武士のやかた家康館前(岡崎公園内) 子供将棋大会 AM9:00~受付 AM10:00開始

トピック 4月29日・倉敷王将戦愛知大会で高学年の部 野村權君優勝・低学年の部 小島瑞瑞葵君優勝共に県代表。

6月の開催日 愛知東邦大学・アクティブ・ラーニング(学生食堂) PM1:30~4:20

6月16日(第3土曜日)・6月30日(第5土曜日)